



UMEX 夢っくすニュース

かわらばん 秋号

新入生歓迎パーティー

高橋 和子



お肉は美味しいですか？



高橋さん（左）と須田さん（右）



キッズサロンの模様



9月24日（日）、最高の秋晴れの中、新入生歓迎パーティーが行われました。

今回は新潟バーベキュー協会会長の須田さんをお迎えして、炭の火おこしから野菜の美味しい焼き方等を教えて頂きました。12時開始の時点では50名位だった参加者も気づけば130名を超える人数になり、用意していた食材がすべてなくなるという事態に！！でも、沢山の新入生が集まってくれたので、夢っくすの認知度も上がり、また沢山の出会いがあり、これからがとても楽しみです。

10月には日本語チューターのマッチングもありますので宜しくお願いします。

Welcome Party キッズサロン

秋晴れの清々しい青空広がる中、新入生歓迎パーティーに合わせてキッズサロンでも歓迎イベントを行いました。

シャボン玉・折り紙・風船遊び・大縄跳びなどを行い、子どもたちのかわいいたくさんの笑顔に出会えました。

日本で楽しい日々が過ごせるよう、また今年も自分自身楽しみつつイベントを計画していこうと思います。皆様のご協力宜しくお願いします。（角屋 志津子）

夢っくす総会と会員交流会

櫻井 徳治

7月22日（土）、午後5時から浦佐のえすみやで総会が12名の参加者により開催されました。最初に昨年度の事業報告と決算、次に本年度の事業計画と予算が審議され、それぞれ承認可決されました。終了後は交流会があり、会員の交流を深めました。

昨年度は設立35周年にあたり、その活動の歴史を2月に浦佐のグローブクラブで展示することができました。多くの皆さんの協力で今日までその活動を継続できました。活動全般的には前年度並みの事業を実施することができました。特にサロン部会では、キッズサロンと着付けが好評で毎年、学生や家族から時期になると要望があり汗をかきながら着付けを頑張っていました。日本語チュータープログラムは日本語支援者が少なく、相手が見つからない学生が多くいました。会員数は微減傾向にありますが、毎年約70名の方が会費を支払って頂いております。事業費も減額傾向にありますが、多くの方から参加費を頂きましたので、翌年度に繰越することができました。以上、簡単ですが総会報告とさせていただきます。尚、サロンに総会資料を置いておきますので、必要な方はお持ちください。

9月には新入生も入ってくるので、多くの会員から夢っくすサロンや事業に参加して頂ければ幸いです。



修了式に参加して

高橋 和子

夏から秋へとあっと言う間に季節が移ろい、魚沼は一面小金色になってきました。もう3か月も前のことになってしまいますが、6月24日（土）に国際大学の修了式が行われました。これまでは浦佐のさわらびホールで行われていましたが、今年は初めて魚沼市の小出文化会館での開催となりました。いつもと勝手が違うので多少戸惑いましたが、一か所で修了式からパーティーまで行われたのでゆっくりと学生さんたちとお別れすることができました。2年間は長いようですが、私たちが学生さんと交流できる時間はそんなに長くありません。せっかく仲良くなれたところでお別れとなってしまいますので、いつも『もっとこうしてあげれば良かった。』『もっと色々』

な所にでかければ良かった。』などと、後悔は尽きません。ただ、夢っくすを通じて少しでも良い思い出を作ってもらえていたらいいなと願うばかりです。

9月29日（金）はもう入学式で、また新しい出会いが始まります。多くの学生さんと会員の皆様が新しい思い出作りをすることを期待しております。

龍言でのおもてなし

小島 由美



5月のある日、スロヴァキアの学生ドミニクさんから「卒業式前後に家族が来日します。着物で写真を撮られたら嬉しいのですが」との話がありました。高橋和子さんに相談したところ「六日町の龍言でできたら素敵！」と話が弾み、「6月25日（日）おもてなし作戦」が開始しました。

当日、まずは龍言に併設されている安穩亭にて、ご家族と会食しました。ご両親と妹さんは、ドミニクさんと広島や京都などを旅行した後で、すっかり日本を気に入っていました。初めて食べた手打ちうどんを「おいしい！」と日本語で表現していました。ドミニクさんのウィットに富んだ流暢な通訳も相まって、以前からの友人のような、とても和やかで楽しいひとときでした。

その後龍言に移動しました。約200年前の屋敷を移築したこの豪農の館は、訪れた人を別世界に誘う圧巻の迫力があります。ご家族は、京都の繊細優美な建物とは異なる、雪国ならではの質実剛健な造りに驚きの声をあげ、梁や柱の存在感と、悠然と構える空間デザインに目を奪われていました。

着付けでは、前日の婚礼の寿ぎが残る控え室を使わせていただきました。田中信さんと丸山さんも着付けに駆けつけ、西洋美で溢れる皆さんを、日本美で艶やかに彩っていただきました。お父さんは羽織袴、お母さんと妹さんは着物、とりわけ妹さんは振袖を華やかに纏い、ドミニクさんは龍言さんのご厚意で、甲冑を着付けていただきました。ドミニクさんは日本文化に造詣が深く、スロヴァキアでは柔道を、日本では合気道や剣道を嗜んでいますが、西洋の騎士とは似て非なる武士の重い戦闘服も、実に貴重な体験になったようです。

お母さんと妹さんは、用意された着物を見るなり「クラスナ（美しい）！」と大喜びで、着付けの所作や着物の奥深さにも感心していました。お父さんは、刀を二本差しすることに驚いたようです。皆さん、正真正銘の伝統的な装いがよくお似合いで、最高の笑顔で輝いていました。女性はまさに「クラスナ！」、男性は「フェシャック（かっこいい）！」でした。この日は小雨が降っていたので、見事な庭園には出られませんでした。歴史的な空気感に包まれながら、夢のような時間を共に過ごせました。すれ違ったお客さんが、俳優顔負けのドミニクさんの雄姿に「いいものを見せてもらった！」とおっしゃり、私まで誇らしく感じました。

この度の「おもてなし」に関わってくださった皆さんに、心から感謝しています。龍言さんには、一流旅館の懐の深さと、本物の「おもてなし」を見せていただきました。（右のページの下に続く）



兼続公祭り花火見物

櫻井 徳治

日本語教室に参加している方や大学の学生達と指導者や夢っくすの会員が、7月19日(水)に私の家から兼続公祭りの花火見物をしました。家は打ち上げ地点から500m位の一番近い場所で、頭上で開く花火と坂戸山に反響した大きな音を楽しめます。花火の前に腹ごしらえをして、午後7時半から9時まで見物しました。

当日は心配された雨も降らなく、日が暮れると涼しくなり、適度の風が花火の煙を流してくれきれいな花火を見ることができました。

長岡の花火もすごいです。場所の確保や行き帰りを考慮すれば、ここの花火が一番かと思ってしまう。

この時期に各地で夏祭や花火がありますが、学生達はほとんどいなく残念です。毎年19日にありますので、皆さんも学生達をお誘いして花火見物に来てください。

★★会員紹介コーナー★★

- ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技
④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ!

会員No. 501 伊藤 峻 (いとう しゅん)

- ① 中国
② 中国語・英語
③ 音楽
④ 留学生の方と交流を深めたいです。
⑤ 中国人の留学生の生活援助
⑥ よろしくお願ひします。



会員No. 502 須佐 美月 (すさ みつき)

- ① アメリカ
② 英語
③ スノーボード
④ こちらを通じて言語はもちろん、文化交流を多くの方とできたらと思います。
⑤ 夢っくすが第一歩です！楽しみです。
⑥ たくさんの人たちと交流をできること、楽しみにしています。



(左のページの下からの続き)

ご家族は「この素晴らしい一日を、決して忘れません！ありがとう、ジャクイエム！」という言葉を残してくれました。こちらこそ、明るくて愛情いっぱいのご家族との楽しい思い出を、ずっと大切にさせていただきます。

ドミニクさんを優しく見守るご家族の絆に、心が豊かに満たされました。国際大学の学生ひとりひとりには、母国で応援する大切なご家族がいることなのでしょう。このことを心に留めて、今後の交流に生かしていきたいと思ひます。

日本語教室送別会

田中 美智子



卒業式を翌々日に控えた6月22日(木)は、卒業するインドネシアの4家族にとっては最後の日本語教室になりました。奥さん達だけでなく、学生であるご主人達や子供達も来てくれて、賑やかな教室になりました。あいにくイスラム教の断食期間だった為、パーティという訳にはいきませんでした。その分おしゃべりに花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。

日本で生まれた赤ちゃんが3人、子供園に通った子が3人、小学校に通った子が3人います。慣れない日本での生活を共にした皆さんが、国に帰ってからもまた仲良く集まって欲しいな、と思いました。

留学生のホームステイ 櫻井 徳治

昨年卒業したタイからの留学生プロイさんが再来日し、大学の修了式に参加しました。その前後は鎌倉、高崎と東京など観光をして楽しんだようです。

プロイさんは、2014年に入学し、県国際交流協会のプログラムで私の家にホームステイすることになり、その後も卒業までも何度もステイやビジットで交流が続きました。昨年の卒業式にはタイから家族など4人が来て皆でプロイさんの卒業式を祝いました。

翌日の乗車時間まで、上の原の足湯、魚沼スカイラインなど回り、お昼は上田の郷でそばを食べましたが、その蕎麦屋はタイのTVが取材に来て放送したようでした。

卒業してから、タイで以前の仕事に戻り忙しい毎日のようですが、第2の故郷に来て、短い休暇を楽しんだことと思ひます。ここを第2の故郷と思ひ、日本の父母と呼んでくれて



ベトナム訪問記

高橋 勇



1【はじめに】

前号の「かわらばん」のとおり、今年6月に卒業した学生さん（チャウ・女性）から「結婚式に来てください。」とのお誘いがあり、思い切って8日間のベトナム旅行に行ってきた。海外旅行は新婚旅行以来なので30数年ぶり、おまけに今回は全くの一人旅。カタコトの英語しか話せない不安はありましたが、現地に着けば昔お世話した学生さん達が案内してくれるという事だけを頼りに出発しました。

滞在先は結婚式の行われるベトナム

南部のホーチミンに4日間、後は卒業生のいる中央部のダナンと北部のハノイにそれぞれ2日間でした。

移動は全て飛行機で、出発から帰国まで4回飛行機に乗りましたが料金は全部合わせても6万5千円位だったと思います。

飛行機のチケットもホテルもチャウさんが国際大学にいる間に、インターネットで予約してくれたので楽でした。

しかし、自分で苦労して手続きしなかった分「本当に大丈夫かな？」という不安は残りました。



バインミーの露店（左）とフォーの露店（上）

新会員のご紹介

No.501 伊藤 峻（新潟市）

No.502 須佐 美月（新潟市）

★よろしくお願ひします★

入会方法

入会は随時受け付けております。申込書は夢っくすのホームページから入手できます。また、夢っくすサロン（毎週土曜の午後1時～3時、年末・夏季を除く）でも配布しております。会費は以下の郵便口座にお振り込み頂くか、またはサロンに直接お持ちください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

2【ホーチミンにて】

ホーチミンでの宿泊先は通称「バックパッカー通り」の路地裏の更に奥にあるバックパッカー専用の様な小さなホテルでした。ホテルのスタッフが空港まで迎えに来てくれたのでチェックインできましたが、もし私一人だったら行けなかったと思います。

翌朝、散歩に出かけてみましたが、迷子にならない様に注意して歩いたものの、路地が入り組んでいるため結局は迷子になって1時間近くホテルの周りうろろしましたし、その翌日も同じく迷子になっていました。

また、そのホテルには玄関らしい玄関はなく、ホテルに入る時は路地で靴を脱いで、一段高くなっている狭いフロントに入り、靴は階段に置くというシステムで、部屋履きはビーチサンダルでした。それでも部屋にはエアコン、シャワー、トイレがあり、私が泊まるには何の不足もありませんでした。

私の他に日本から結婚式に呼ばれていたのは、チャウさんが国際大学に来る前に在学していた小樽商科大学の元教授のご夫妻と小樽の薬局経営者の3人で、この人達はドアボーイがいるそれなりのホテルらしいホテルに宿泊していました。

どちらのホテルにも立ち寄りしましたが、身振り手振りでしか意思を伝えられない私にとっては敷居の高いものでした。

ダナンとハノイで泊まったホテルはホーチミンと違って表通りに面しており、迷子になる事もなくなり、設備も少しレベルが高くなりましたが、スタッフの心遣いはホーチミンのホテルが一番でした。

また、ホーチミンのホテル脇の路地に朝の出店する露店のバインミー（フランスパンを横から切って肉や野菜を挟みニョクマム等のソースをかけたもの）と「フォー」が絶品でした。

「フォー」を作っていたお婆さんはベトナム語も読めない人で、私がガイドブックで「おいしい」のベトナム語を指さすと、通りかかった通行人を捕まえて読んでもらい、意味を聞いてから笑顔を返してくれました。（次号に続く...）



うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7

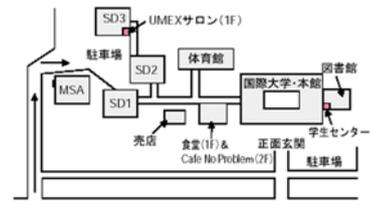
うおぬま国際交流協会（夢っくす）事務局

夢っくすサロン（国際大学第3学生寮1階）

TEL/FAX: 025-779-1520

E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先

サロン 高橋:070-5083-3123 イベント 櫻井:080-6608-4830

多言語支援/外国語 坂西:090-5585-2066

広報 森山:090-6945-9402

【編集後記】

9月29日（金）に国際大学では“新入生歓迎の日”という入学式のような行事が行われました。これから新たな学生さんとの交流が始まります。皆様からのお便りをお待ちしています。（toshi）